

# 部署名：A5南

## ♥いいね わたしたちの仕事♥

私たちは心臓外科・呼吸器外科・泌尿器科患者さんを看ています。移植患者さんは入院長期化となることがあり、精神面や退院支援が必要となります。そのため、週1回主治医、耳鼻科医師、臨床心理士、薬剤師、栄養士、PT・ST、移植コーディネーター、病棟看護師が参加する多職種カンファレンスを行っています。より良い介入を目指し、病状や今後の方針、患者の思いを共有し、多職種で認識を統一しています。今年度より泌尿器科が合併しました。泌尿器科では腎臓、膀胱、前立腺、疾患を中心に周手術期、化学療法などの治療を行っています。急性期病棟のため、術後はより細かい観察眼を持ってアセスメントを行っています。新しく合併した泌尿器ナースと協力して、お互いの知識を提供しあいながらより良い看護の提供を目指しています。

【肺移植カンファレンス】  
その人らしさを考え、  
多職種で真剣に話し合っ  
ています。



【勉強会の様子】  
お互いの知識を提供し  
あいながらより良い看  
護を提供しています。



# 部署名：A5南

## ♥心に残る エピソード♥

労作性狭心症、中等度大動脈弁狭窄症に対し冠動脈バイパス術3枝＋大動脈弁置換を行った患者さんの話です。

退院後、自宅でのインスリン投与、手術の創部ケア、酸素ボンベの使用が必要でしたが、認知機能の低下がありました。高齢の家族と同居していたため病院と同様のケアを自宅で行うことができず、担当医やPTリハ、ケアマネジャーと退院後の生活について話し合い、訪問看護を導入するなど社会資源の調整を行いました。患者の治療だけでなく、その後自宅で安心して生活することができるのかを考え、様々な医療職と話し合うことで、患者さんの継続看護を提供することができました。その時、自分や看護の力が患者さんの役に立てていると実感しました。